



このコーナーでは、男女平等参画をはじめとする様々なテーマの本を紹介します。男女平等推進センター「パリテ」の図書コーナーで貸し出していますので、ぜひご利用ください。



**みんな自分らしくいるための  
はじめてのLGBT**  
著者：遠藤まめた  
出版社：筑摩書房

「当たり前」や「常識」「普通」といった価値基準は、本当に「みんな」が共有しているものなのでしょうか。本書はLGBTや性の多様性をテーマに扱いつつ、社会や世間の中で抱く生きづらさやモヤモヤについて、そして「みんな」の意味について再考できる一冊です。



**息子がいじめの加害者に?**  
大原さんちの大ピンチ  
著者：大原 由軌子  
出版社：文藝春秋

子どもがいじめの加害者と言われた著者による実話。加害者の親が子どもとどう向き合うのか、親同士での話し合いや、学校との対応をリアルに描いています。子育て応援センターや市の教育相談員などを積極的に活用する具体的な対応を教える作品です。



**『女の子はどう生きるか』  
—教えて、上野先生!**  
著者：上野千鶴子  
出版社：岩波ジュニア新書

女の子たちの抱く疑問に、上野先生がズバリと答えてくれます。まだ日本では女の子と男の子の育ち方・育て方が異なりますが、本書は「女の子の翼を折らないように、女の子はどう育てるか」の本でもあり、大事なメッセージが詰まっています。

パリテだより

センターパリテでは、さまざまなイベントを開催しています。  
2021年7月までの主な事業をご報告いたします。



**2021年3月17日(水)**  
木山裕策さんオンライン講演会&生ライブ  
講師：木山裕策さん(歌手)  
ガン経験者で会社員、歌手、時には専業主父として4人の男の子を育てる木山裕策さん。子育てとパートナーシップについてお話しいただきました。コロナ禍のお家時間に木山さんの美しい歌声に癒やされ励まされました。



**2021年6月19日(土)**  
フィンランド人はなぜ午後4時に仕事が終わるのか  
講師：堀内都喜子さん  
(フィンランド大使館広報部)  
フィンランドは「世界幸福度ランキング」で4年連続で第1位。皆が午後4時に退勤しているそうです。2019年には34歳の女性首相が誕生し、両親にそれぞれ7カ月の育休取得を認めるなどの推進政策は驚くばかりでした。



**2021年7月10日(土)**  
AIから考えるジェンダー  
～AIにもジェンダーの刷り込みが?～  
講師：栗林史子さん  
(朝日新聞大阪本社経済部記者)  
Siri、Alexa、さくらさん…AI(人工知能)音声アシスタントのデフォルト性別設定(女性)についてUNESCO報告書もジェンダー偏向と指摘。「アシスタントは女性」という根強い偏見とその危うさの意識を持つ必要性を学びました。

「令和3年版男女共同参画白書」から見たコロナ禍の影響と現状

令和2(2020)年4月の第1回緊急事態宣言以降、就業や生活の面で多くの問題が発生。「令和3年版男女共同参画白書」によれば、いずれも男女共同参画の遅れが表面化した形となっています。

たとえば就業の面では、緊急事態宣言による自粛の影響で飲食業・宿泊業・娯楽業・小売業などで就業者数の大幅な減少が見られ、パートなど非正規雇用を中心に、その数は男性39万人・女性70万人にのぼります。雇用状態の悪化は、女性やひとり親世帯を直撃し、シングルマザーの完全失業率は3ポイントも上昇。女性の貧困はさらに深刻さを増しています。なお、コロナ禍で浮上した「生理の貧困」(経済的理由で生理用品を購入できない女性がいる)問題について、西東京市では3月25日から生理用品の無償配布を行っています。

生理用品の配布の詳細はこちらをご覧ください ⇨



一方、生活面では、ステイホーム・在宅ワーク・学校休校などにより家族全員が家にいることで女性の家事・育児負担が増加。配偶者暴力(DV)の相談件数は19万30件と前年度比1.6倍となっています。また性犯罪の相談件数も1.2倍と、いずれもコロナ禍によるストレスが暴力の形で女性に向けられているのと同じ見通しです。

2020年4月～2021年3月の自殺者数は、男性が微減なのに対し女性が935人(前年度比15%)も増え、そのうち主婦(261人)と女子高生(69人)の増加が目立ちます。

あなたの悩みを相談できる  
ところがあります ⇨



LGBTQ当事者にとっても、もっとやさしく、安心して暮らせる街になるように

レインボーコミュニティ西東京

レインボーコミュニティ西東京は、西東京市を中心に活動するLGBTQ(性的マイノリティ)とAlly(アライ:寄り添いたいと考え支援する人)のための地域団体です。団体では理解増進に関する情報発信や勉強会、交流会の開催、パリテまつりやNPO市民フェスティバル等のイベントに参加しています。

今年6月の東京都議会本会議で、小池百合子都知事から同性パートナーシップ制度の導入について、「都としての制度の検討を進める」と表明がありました。都として制度が導入されたあかつきには、西東京市もその制度が適用されることとなります。そのときにこの街が当事者にとって住みやすい街になっているかがとても重要です。困ったときに窓口や身近な人に相談できるか、カミングアウトしたい当事者が安心してカミングアウトできる環境が整っているか等、街としての懐の深さがなければ、制度があってもそれを利



▲活動報告会兼交流会の様子



▲協働コミュニティ課の職員研修の様子

用する当事者は増えないでしょう。

性の多様性が尊重されることは、生きることの多様性が尊重されることそのものであると、私たちは考えます。私たちは、顔の見える関係づくりを大切に、この街に暮らす方々との対話や交流を主軸に活動を行っています。あなたもアライになりませんか? LGBTQ当事者の方の当団体への参加も大歓迎です。個別相談も随時受け付けています。どうぞお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ レインボーコミュニティ西東京 連絡・問い合わせフォーム  
https://www.rc-nishitokyo.com/contact/

